

本学の感染症対策の方針

日常において3密を避け、「組織として行う感染症対策の6原則」及び「感染症への各自の対応」に従い、学生・教職員一人ひとりの責任ある行動をお願いいたします。

大学HPを参照してください。

<https://www.obihiro.ac.jp/corona-taisaku>

3密を避ける

- ・換気の悪い密閉空間
- ・多数が集まる密集場所
- ・近距離での会話や発話が生じる密接場面

組織として行う感染症対策の6原則

- 1.マスクの着用
- 2.アルコール消毒薬の設置
- 3.十分な距離の確保の徹底（できるだけ2m、最低1m）
- 4.定期的な換気の徹底
- 5.使用後の居室・用具等の洗浄・消毒
- 6.学生及び職員個々による健康状態の把握の徹底

感染症対策への各自の対応

感染しない（予防）

- ①手洗い：帰宅時，食事前などこまめに手を洗う。
- ②普段の健康管理：十分な睡眠とバランスのよい食事，運動を心がけ，免疫力を高めておく。
- ③適度な湿度を保つ：加湿器などで適切な湿度（50～60％）を保ち，乾燥による「のど粘膜」の防御機能低下を防ぐ。
- ④感染リスクの回避：密閉空間（換気の悪い密閉空間である），密集場所（多数が集まる密集場所），密接場面（近距離での会話や発話が生じる密接場面）の3密になる場を避ける。

うつさない（感染拡大防止）

- ⑤咳エチケット：咳・くしゃみをする際，マスクやティッシュ・ハンカチ，袖，肘の内側などを使って，口や鼻をおさえる。
- ⑥自宅安静：発熱等の風邪症状（鼻水，鼻づまり，のど痛，咳，たん，倦怠感等）があるときは，大学や職場を休み外出を控える。発熱のない風邪症状の際も同様に対応する。風邪症状が見られたら，毎日，体温を測定して記録する。

⑦「帰国者・接触者相談センター（保健所）への相談基準

- ・息苦しさ，強いだるさ，高熱等の強い症状のいずれかがある場合。
- ・発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合。

（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので，強い症状と思う場合，あるいは，解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。）

- ・重症化しやすい方（※）で，発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合。

（※）高齢者，糖尿病，心不全，呼吸器疾患（COPD 等）等の基礎疾患がある方や，透析を受けている方，免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方。妊娠中の方は，念のため，重症化しやすい方と同様に，早めに相談してください。

相談先：

【帯広保健所】 TEL:0155-26-9084（平日 8時45分～17時30分）

【北海道保健福祉部地域保健課】 Tel:011-204-5020（平日 17時30分～8時45分，土日祝 24時間）

※⑥⑦に該当する者（自宅安静者、保健所相談者）は、保健管理センターに連絡する。

【保健管理センター】

TEL: 0155-49-5315, 5793（平日 8時30分～17時15分）

Email: hokekan@obihiro.ac.jp